

「事故起こさなければ・・・」 意識根強く 飲酒運転で道警調査

摘発されたドライバーへの聞き取り結果
身勝手な考えで運転していた

◇違反だと・・・分かってやってる◇

◇『飲酒運転』 「飲酒運転は事故でなく犯罪」◇

2018/7/10(火) 6:10

道警が昨年度に飲酒運転で摘発したドライバーに対し、聞き取りをしたところ、回答者の57%が「交通事故や違反をしなければ捕まらない」と、身勝手な考えで運転していたと回答した

小樽市の「おたるドリームビーチ」近くで女性3人が死亡し、1人が重傷を負った2014年の飲酒ひき逃げ事件から13日で4年。

この間も飲酒運転による死亡事故は後を絶たず、道警は「見つからなければ問題ない」との意識が改まらない実態に危機感を強める。

道警は昨年度から飲酒運転で摘発したドライバーへの聞き取り内容を「運転理由」「飲酒場所」「目的」別ごとに分析することを開始。

最も多かった「交通事故や違反をしなければ捕まらない」は373人。
2番目は「目的地が近いから捕まらない」の51人で、
3番目は「タクシーや運転代行を待つのが面倒」の49人だった。
ほかには「事故を起こすほど酔っていない」と開き直る人もいたという。

飲酒場所は、
「居酒屋、スナックなどの飲食店」が323人と半数を占め、
次いで「自宅」の192人。
「車内」も32人いた。

目的は、
「帰宅」が最多の313人で、
「買い物」が86人と続いた。
この中には自宅で酒を飲んでいるうちに足りなくなり、車を運転して買い足しに行った人も

道警交通指導課は「運転を前提に酒を飲む悪質なケースが大半」と指摘する。